



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 田中 武
- 幹事 門前 庄次郎
- 会報委員長 田中 正躬



猿と犬 馳星周

<会長の時間>

先週に引き続き高山線建設にまつわる話です。

空前の難工事を余儀なくされた高山線、飛越線でしたが、当時の高山線建設の隠れたエピソードがあります。

高山線の建設も大詰めにきた昭和九年五月、全線開通を五ヶ月後に控えて、高山駅舎の建設にとりかかりました。この元請師は名古屋の藤本組といい、下請けとして直接高山駅の建設をしたのは、高山の(玉腰徳一郎・左官と基礎工事)、逢坂由蔵(大工と木材) 松井甚蔵(建具) 都竹末吉(土木)。屋根や塗装などの諸工事はこの四人が共同で請け負いました。ところが、総工費六万五千元で元請師が契約したのは判っていましたが、この四人には二万五千元(4掛以下)で「十月二十五日の開通までに駅舎を間にあわせよ」というので、四人は「それではいくらなんでもひどい」と親方に抗議しました。すると親方は「お前らにやってもらわなくても、いくらでも仕事引き請けてくれる者はおる」と言い、頑として増額に応じてくれませんでした。当時は昭和初期の経済恐慌に続く不景気の時代で、仕事もないときだけに、足元を見られて四人は泣く泣く仕事を引き受けました。ところがそれからが泣きの涙でありました。

元請といっても、ただ工費をピンハネしただけで、機械や道具を与えてくれるわけでもなく、全部四人の持ち寄りでした。それだけならまだしも、元請師は妾を連れて来て高山に常泊させ、自分はいつも酒を飲んで臭いをプンプンさせながら、現場で毎日まるで暴力看守が囚人を扱うような恰好で怒鳴り散らし「工期が迫っておるぞ!」とやかましく急ぎたてました。「もし工期に少しでも遅れるようなことがあれば、お前ら四人を殺してくれる!」「家に火をつけてやるからな!」と脅しまくり、牛馬に鞭を打つような非常ぶりで意地悪の限りを尽くしました。人夫衆は多いときには100人ほどいましたが、賃金は一日/八十銭で工事に拍車をかけました。鉄道省から技官とそれを補佐する監督が二人来ていましたが、砂やセメントをいちいち計量にかけての作業であり、その意地悪さにも耐えねばならなかったそうです。



<幹事報告>

◎ガバナーより

- ・韓国第3600地区年次大会
 交換交流派遣学生募集案内

期間 7月21日(火)~
 25日(土)の5日間の予定

場所 韓国第3600地区京畿道地域(ソウル近郊)

人員 25名(各学校2名までの応募を認めます)

負担金 60,000円

締切 5月22日(金)必着

申込 「派遣に関する申込推薦及び同意書」に小論文を添えて地区事務所まで

選考 5月31日(日)13:15~ じゅうろくプラザ

◎ガバナー、次期ガバナー、地区会員基盤増強維持委員長より

- ・会員基盤増強維持研修セミナー開催のご案内

日時 5月8(金) 点鐘11:00 終了15:30

場所 岐阜グランドホテル

出席義務者 現・次期会長・幹事、会員基盤増強維持委員長、入会3年未満の新会員

<例会変更>

高山 … 4月9日(木)は、環境保全委員会担当例会のため
 飛騨産業(株)に 変更
 4月30日(木)は、定款6条第1節により 休会

可児 … 4月16日(木)は、事業所見学の為
 11:00~ 濃尾化研 に 変更

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	36名	7名	43名	47名	91.49%
本日	38名	—	38名	47名	80.85%

例会報告

<本日のプログラム>

会員増強委員会

委員長 新田 敬義

本日は会員増強委員会の担当例会です。

ゲストスピーカーの尾藤課長様を簡単にご紹介いたします。郡上市白鳥町のご出身で昭和56年岐阜県警察官を拝命され、岐阜南警察署、高山警察署、大垣警察署、警察本部生活環境課などを経て平成26年9月、警部、高山警察署生活安全課長として赴任されました。趣味はスキー、スポーツ観戦だそうです。

お仕事から脱法ドラッグのお話しが中心になるかと思います。ご静聴よろしくお祈いします。



危険ドラッグについて

高山警察署 生活安全課長 尾藤 淳正 様

平素は、各種防犯活動にご協力を頂きありがとうございます。地元で活躍をされる皆様、青少年の見本となる姿を示して頂くことにより、次の世代を担う若者が社会に役立つ成人として成長できるものと感じています。

本日は、お話をする機会を作って頂きましたので薬物、とりわけ『危険ドラッグ』についてお話をさせていただきます。

危険ドラッグについては近年何かと話題となっている薬物であり、皆様もテレビの報道などでご存じだと思いますが、危険ドラッグを使用して車を運転して、意識混濁となり、死亡事故など重大な事件・事故が多数発生しています。

昨年12月には、危険ドラッグを使用した男が、同じアパートの隣人の部屋に侵入し、ナイフで顔や手などを11ヵ所切りつけるという事案も発生しています。

岐阜県でも意識混濁となり、救急搬送されたり、ビルの屋上に昇って飛び降りそうになっていた人物を、警察官が救助したという事例などがあります。

その他には、危険ドラッグを吸って意識朦朧となり、机の下に潜りひたすら頭を机に打ち付けているのを家族が発見して救急搬送されたものや、意識混濁となり、交通事故を起こしたり、自宅で泡を吹いて意識不明となるなど、いろんな事例が発生しています。

調査によると、危険ドラッグを使用した内の4割を超える人が幻覚、妄想の症状が現れたと回答しており、これは、覚せい剤よりも割合が高く、依存性も覚せい剤と同程度とみられています。

また、その毒性については、次から次へと新たなものを作り出しているため、より毒性が強いものが出てくる可能性が高いと指摘する意見もあります。

最近テレビ等でも「ハートショット」というシリーズの危険ドラッグを使用して中毒となり死亡したり、車を運転中に利用して交通事故を起こすなどの事案が報道がされています。

県内での検挙件数は、平成24年は事件が4件で3名を検挙、平成25年は事件が6件で7名を検挙、平成26年は事件が8件で9名を検挙となっています。

平成25年までは、違法に販売するものを取り締まる法律はあったものの、個人の所持を取り締まる規制がありませんでしたが、多くの事件が影響し法律が改正となり、個人での所持も規制となりました。

全国の数字を見ますと、平成24年は事件が76件で112名を検挙、平成25年は事件が125件で176名を検挙、平成26年は事件が706件で840名を検挙と、平成26年には前年の約5倍検挙となっているのが現状です。

危険ドラッグの販売方法としては、現在、県内では店舗を構えての販売は確認されていませんが、インターネットでの販売や、他県との境ではデリバリー（出前）での販売が確認されています。

ちなみに過去には『合法ハーブあります。』などと看板を上げた店舗が存在し、規制をされる前の危険ドラッグを販売していましたが、平成25年に県内にあった4店舗をすべて摘発し廃業に追い込み、平成26年9月ころには県内から販売店は無くなりました。しかし、インターネットを利用した販売はなくなり行われていますので、今後は、これらの違法販売の摘発が問題となっています。

ところで、皆さんは危険ドラッグがどのように作られているか、知っていますか？

危険ドラッグは、綺麗なパッケージに入れられており、店先などで商品として売られている関係で、一部の人はとこかの会社がきちんと品質管理をした「商品」だと思っているようです。

しかし、実際に危険ドラッグを製造しているのはアジアの一部の地域で、薬物について何の知識も無い人間が、お金儲けだけを目的に製造しているのです。

危険ドラッグは、大きく分けて、粉末状のもの、葉っぱを砕いたもの、液体のもの3種類があります。

粉末のものについては、生産国から仕入れた粉末の薬物を、そのまま利用したり、違う種類の粉末と混ぜて、ケースなどに

例会報告

詰めています。

いわゆる『ハーブ』といわれる葉っぱ状のものについては、どんな植物でもよく、一般的に販売されている葉っぱを砕いたものに、薬物と水を混合して溶かしたものを、霧吹きで振りかけ、乾燥させてパッケージに詰めています。

液体のものについては、ペットボトルに薬物と水を入れ、振って溶かして、それに香料（レモン、オレンジなど）、食紅を入れたものをケースに詰めています。

これらの薬物については、原産国から送られてくるもので、業者自身もどのような薬物が混合されているのか認識しておらず、安全性を確認すらしていません。

ちなみに薬物を作っている原産国の業者は、「こんな危険なものは、自分の国では流通させれない。」と言っているそうで、これらの言動からいかに危険な薬物であるか分かって頂けると思います。

現在法律で規制された覚醒剤や、麻薬、大麻などの他に、いわゆる指定薬物という薬物が1448物質あります。

これらの指定薬物を、持っていたり、使用すれば、法律違反となり、3年以下の懲役もしくは、300万円以下の罰金となります。

また、危険ドラッグの中には、麻薬成分も入っていることがあるため、その場合は、更に重く、7年以下の懲役となります。

薬物を使い始めるきっかけは様々ですが、生まれた時から薬物の乱用者はいません。乱用者になる前は、普通の学生であったり、会社員や、主婦などであった人も多くいます。

薬物に一度でも手を出さなければ、薬物乱用者になることはありません。しかし、ほんの出来心で一回でも手を出すと、乱用者への第一歩を踏み出すこととなるのです。

薬物依存者を出さないためには、少年期からの教育が重要となってくると思います。

各地域・業種で活躍されている皆様が、薬物の危険性を十分に理解して頂き、青少年を正しく導いて頂き、次の世代を担う青少年から薬物乱用者が出ない社会を築いて頂くことを切に願っています。

ご協力をお願いしまして、『危険ドラッグ』のお話を終わらせて頂きます。

<ニコニコボックス>

●田中 武さん、門前 庄次郎さん

本日は高山警察署 生活安全課長 尾藤 淳正 様にはお忙しい中ご来訪賜り有難うございます。後ほどの卓話、よろしく願います。

●新田 敬義さん

尾藤 淳正 課長様にはお忙しい中ゲストスピーカーをお引き受けいただきありがとうございます。よろしく願います。

●田中 正躬さん

本日は高山警察署 生活安全課長 尾藤 様のご来訪感謝申し上げます。防犯関係ではいつもお力添えいただく事ばかりですが、少しでもお役に立てればと活動しています。卓話楽しみにしています。

●狭土 貞吉さん

・高山警察署 生活安全課長 尾藤 淳正様、ようこそお越し下さいました。

・3/15 レンガ造りに一新されたレストラン花水木オープン、誠にめでとうございました。また施工においてお世話になりました事、オープンセレモニーにお招き頂きました事、併せて感謝御礼申し上げます。ありがとうございます。公規さんの挨拶に心打たれました。ご発展を祈念してニコニコへ。

●向井 公規さん

3月10日に義父が亡くなり喪主を務めさせていただき、3月15日には花水木のレセプションパーティー、翌16日にはオープンをさせて頂き、慌ただしい10日間でした。観光の拠点として前進して参りたいと思いますが、地元の皆様にもご利用いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

●鴻野 幸泰さん

3月8日のソフトミニバレー大会に参加していただいた選手の方、応援に来て頂いた方、本当にありがとうございました。新井さんには特に頑張っていたいただきありがとうございました。

●田中 晶洋さん

先日健康診断でメタボリックと脂質異常を指摘され、保健師さんに指導を受け3ヶ月で3kg減の目標を立てて頂きました。食事量の制限と週2回のジムトレーニングを自分に課して7日程経ちました。順調に体重も減って参りました・例会の食事を残しても、決して口に合わない訳ではなく、体調が悪い訳でもありませんのでご理解下さい。

●大村 貴之さん

本日件の入札のため早退します。